

るということです。たとえそれらが非常に価値のあるものであったとしても、それは変わりません。

多くの働き人は、主の召しを受けて神学校に進むとき、主のみこころの所在を求めて祈ります。それは、自分が捨てなければならぬものの大きさ、多さの故であるかもしれません。ある人はそれまでに築いて来た社会的地位を捨てなければなりません。また別の人は、教会や社会に役立つ何らかの働きを手放すことであるかもしれません。若い人であるならば親や周囲の期待を捨てることになるかもしれません。

43年前、私が北海道聖書学院で学ぶ道を主から示されたとき、私はその導きを直ぐに受け入れることができませんでした。幾つかの解決しなければならぬ課題があったからです。私はそれまで、児童伝道に関わる働きに携わっていました。そこは経営的には非常に厳しい状態で、私が抜けると代わりを補充する余裕がありませんでした。おまけに毎日残業しなければ終わらない程、仕事が山積していました。

また、私と妻の所属する教会は、当時開拓して間もない頃で、人数も少なく、メンバーの中で若手は私たちだけでした。開拓教会によくみられるように、私たちは教会のあらゆる活動に関わりを持っていました。その私たちが900キロも離れた北海道に行ってしまうても良いのであろうか、そのような心配がありました。

しかし、主に従うときそれらのすべては杞憂に過ぎなくなります。私の勤めていた団体は後に、より大きな組織に組み入れられ働きを継続するようになりました。私たち夫婦の所属していた教会は、私たちの去った後さまざまな面で成長し、私の学びのためにも祈りと献身的なサポートを続けてくれました。

一つの選択、主に従うという選択は、私たちが捨て去るものに優る祝福に私たちの目を開いてくれます。

本科生の証し



心地よき学院生活

本科2年生 工藤 元貴

昨年の夏頃、学院でのことです。授業の合間の休憩時間に久しぶりにお会いした宣教師の先生。なぜ献身したのですか？との質問に、残り1分という中、一言でシンプルに答えることが出来ませんでした。召しのみことばを頂いたから、信仰の歩みの中で導かれたから、主のために働きたかったから。どれも本当のことですが、一言で主と私の関係を言い表すには足りませんでした。後日、パウロのことばから、ああこれだと、しっくりとする表現が与えられました。

第二コリント 5:14「というのは、キリストの愛が私たちを捕らえているからです（欄外注：駆り立てているからです）。…」

まさに、イエス様の迫りに、応答するしかなかった、という心境でした。そして、学院で学んでいる今、これで良かったのだと、やはりしっくりとした気持ちで毎日を過ごしています。また、日々知らされる神様のお働きの壮大さを前に、自分がいかに何も知らない者か、吹けば飛んで行くちりにすぎない者であること、全ては神様がお造りになったのだ、という所に立ち返り、礼拝の心が与えられます。自分には何も生み出せないことを認め、只々、与えられることに感謝して忠実に歩む。心からの平安の中にある生活です。促しのある方、心地よき学院生活を共に過ごしましょう。

遠隔地授業受講生の証し



遠隔地授業を 受講しての恵み

日本福音キリスト教会連合
北見めぐみキリスト教会

曾根 砂由里

旧約通論を受講をさせていただいています。授業を受けるきっかけは、HB Iの卒業式を見ようと検索した時に、今年から遠隔で授業を受けられると知りました。片岡伝道師が教会に来られた時に、旧約聖書通論は難しくないか聞いたところ、一信徒でも大丈夫との事で、申し込んでみました。

授業開始がコロナのために延期になりました。その間先生が授業の文章を送って下さいました。その感想を提出し、さらに通読の感想を提出する形で始まりました。しかし文章の感想を書き、通読の感想を書き終わらないうちに、次の授業の文章が送られてきました。やっていけるのかと不安になったのと同時に、一教科でこんなに大変なのに、牧師になるには膨大な勉強をされていることの大変さを少しだけわかった気がしました。

創世記～サムエル第二まで習いました。一番の恵みは、聖書に何が書かれているかがわかるようになったということです。吉田浩二先生が何が書かれているのかがわかるように、テキスト以外にも、地図や、系図、その他資料を準備して下さい、授業では先生の考え方やポイントも教えていただいています。知らないことだらけで、聖書についての知識が増えました。通読をして感想文を提出しますが、授業で習ったことを思い返しつつ資料を見ながら読んでいくと、習う前にはわからなかったことが、雲が晴れるようにわかるようになり、それが毎回なので、今は本当に授業を楽しみにし

ています。先生がこの感想文は後に宝になりますといった言葉を胸に、思いをしっかりと書けるように気を付けています。今年度1年を通して授業を受けられることを楽しみにしています。



遠隔授業を受講して

日本福音キリスト教会連合
グレースチャペル

片岡 千鶴

主の御名を賛美します。

今年度、遠隔授業で、新約通論の授業を受けることが出来ました。

網走に居ながらにして、授業を受けることが出来るのは、私にとって、とても嬉しいことです。

網走・札幌間は、車で6時間半ほどかかります。宿泊など考えますと、費用も結構かかります。ですから、一度、一つの講義を受けるために通ったことがありましたが、体力的にも、時間的にも、経済的にも、たいへんでした。

新約通論では、今まで知らなかったことをたくさん教えていただいています。

礼拝メッセージでは、語られない内容です。一つの書の書かれた時期とか場所、特徴など。それらを通して、たとえば、パウロの心情が少しわかりました。その当時と今の自分とのつながりを現実感をもって受け留められるようになりました。

また、神学生の方々とのお交わりも、とても新鮮です。日々学んでいる方から発せられている何かは、私を霊的に引き上げてくれます。

現在の働きの行き詰まりや、判断に迷っていることなどに、ヒントが与えられることも多いです。

授業を受けることによって受けた恵みは、周りの方々に流れて行きます。

主と授業のために労して下さる方々に、感謝しています。

学生募集要項

■本科生

1. 入学資格

- (1) 新生の経験とともに主の働きへの召命が明確である者
- (2) 教会員として1年以上教会生活を経た、教会の推薦のある者
- (3) 本学院の規則と精神に喜んで従う者
- (4) 毎年、行われる入学試験（筆記・面接）に合格した者
- (5) 外国人の方は、日本語能力試験（JLPT）でN2以上の資格を必要とする
- (6) 外国人の方は、日本における所属教会を得ること

2. 入学願書に添付すべき書類

下記の書類を取り揃えて、本学院事務局に提出すること

第一期 2021年1月12日(火)まで

第二期 2021年2月16日(火)まで

- (1) 入学願書（本学院所定の用紙を使用すること）
- (2) 救いの証・召命の証（それぞれ1200～2000文字）
- (3) 受験者本人の人格、信仰、勉学能力を保證する所属教会の推薦状
- (4) 戸籍抄本
- (5) 最終学校の成績証明書
- (6) 健康診断書
- (7) 受験料 10,000円
必要な用紙は本学院事務局へ、500円分の切手同封の上申し込むこと

3. 入学試験・合格発表

試験日：第一期 2021年1月25日(月)

第二期 2021年3月1日(月)

（なお試験日は、相談に応ずる）

試験科目：聖書知識・一般常識（英語・作文）・面接

試験場：北海道聖書学院

合格発表：試験、面接の後、当日中に発表する

4. 入学手続き：合格者は、入学式当日までに次の各手続きを完了しなければならない。

- (1) 入寮届けの提出（用紙は合格通知とともに渡す）
- (2) 入学金納入 40,000円

5. 入学後の諸費

- (1) 授業料（年間） 240,000円
- (2) 寮費（年間） 180,000円
- (3) 食費（年間） 144,000円
（時価により変動がある）
- (4) 海外研修積立費（年間） 84,000円
- (5) 傷害保険料（年間） 5,000円（2020年度）
（変わる可能性あり）

6. 本科生への経済的援助として奨学金制度、家族住宅手当の援助制度有り

■短期信徒コース生

「北海道聖書学院で、信徒も学べるコースがあったら！」という要望に応じて、「短期信徒コース」が設けられています。1年間で、聖書の基礎



を学び、それを自分の信仰生活に生かしていただくこと。それがこのコースの目指しているところです。

「でも1年では無理」という方も、一度登録すると、最長3年に分けて単位を修得することができます。3年以内で必修単位をすべて修得した方に、修了証書を授与します。

1. 登録資格

- (1) 教会員であること
- (2) 所属教会の責任者の推薦があること
- (3) 学院の教師会の面接を受けること
☆年齢制限はありません。学歴も問いません。
所定の申込用紙に記入し、2021年2月16日(火)まで本学院事務局に提出してください。

2. 費用

- (1) 登録費： 5,000円（入学時のみ）
- (2) 学費（年間） 180,000円
分割払い（毎月15,000円 一学期で6万円）も可能です。特典として一年目の他の科目（特別講義も含む）を無料で聴講できます。

■遠隔地授業（聴講）

学院が所在する札幌より遠方に住む方が、インターネットで聴講（旧約通論、新約通論、キリスト教史）するための制度です。詳しくはホームページをご覧ください。電話でお問い合わせください。

□問い合わせ先：

北海道聖書学院

〒003-0831 札幌市白石区北郷一条3丁目1-61

TEL 011-871-7892 FAX 011-871-7899

□HP メールアドレス

HPアドレス <http://www.hbi-wmc.org>

Eメール hbi@olive.plala.or.jp

卒業生の主な赴任先

（2020年9月現在）

教団・教派		教団・教派	
日本福音	67	バプテスト関係	4
キリスト教会連合		その他	38
日本同盟基督教団	24	海外宣教・	4
日本福音自由教会	6	海外在住	
日本自由福音教会	2	超教派・教会協力	9
ブレザレン	2	召天者	7
メノナイト	3		